

## 「<sup>あ</sup>当たり<sup>まえ</sup>前のことが<sup>あ</sup>当たり<sup>まえ</sup>前にできる」

あなたの<sup>いえ</sup>家で、<sup>がっこう</sup>学校で、<sup>ち いき</sup>地域で  
いろいろなところで、やってみよう。

- ・あいさつをする
- ・人の<sup>ひと はなし き</sup>話を聞く
- ・相<sup>あいて おも</sup>手を思いやる
- ・いじめをしない
- ・時<sup>じ かん まも</sup>間を守る
- ・靴<sup>くつ なら</sup>を並べる
- ・清<sup>せいそう</sup>掃をする など

### 中泉尾小学校 教育目標

#### 校 訓

みんな なかよく  
よく かんがえて  
きっと やりぬく

#### 学校教育目標

豊かな心を持ち、未来に向かって  
たくましく生きる  
子どもを 育てる

### 具体的な行動

#### たとえば、あなたの当たり前のこと (児童)

- ・自分から元気にあいさつする
- ・親や先生の話をしっかり聞く
- ・きまりや約束を守る
- ・家の手伝いをする

#### たとえば、保護者の当たり前のこと

- ・良いことはほめ、悪いことは叱る
- ・我が家のきまりを作り、実行する
- ・子どもの話に耳と心を傾ける
- ・朝ごはん、生活リズムを整える

#### たとえば、教師の当たり前のこと

- ・児童へ声かけをする
- ・愛情をもって、ほめる・叱る
- ・情熱、使命感を忘れない
- ・常に教員が率先垂範する

#### たとえば、地域の当たり前のこと

- ・大人が率先してあいさつする
- ・家のまわりを掃除する
- ・地域の行事に積極的に参加する
- ・子どもにより手本を示す

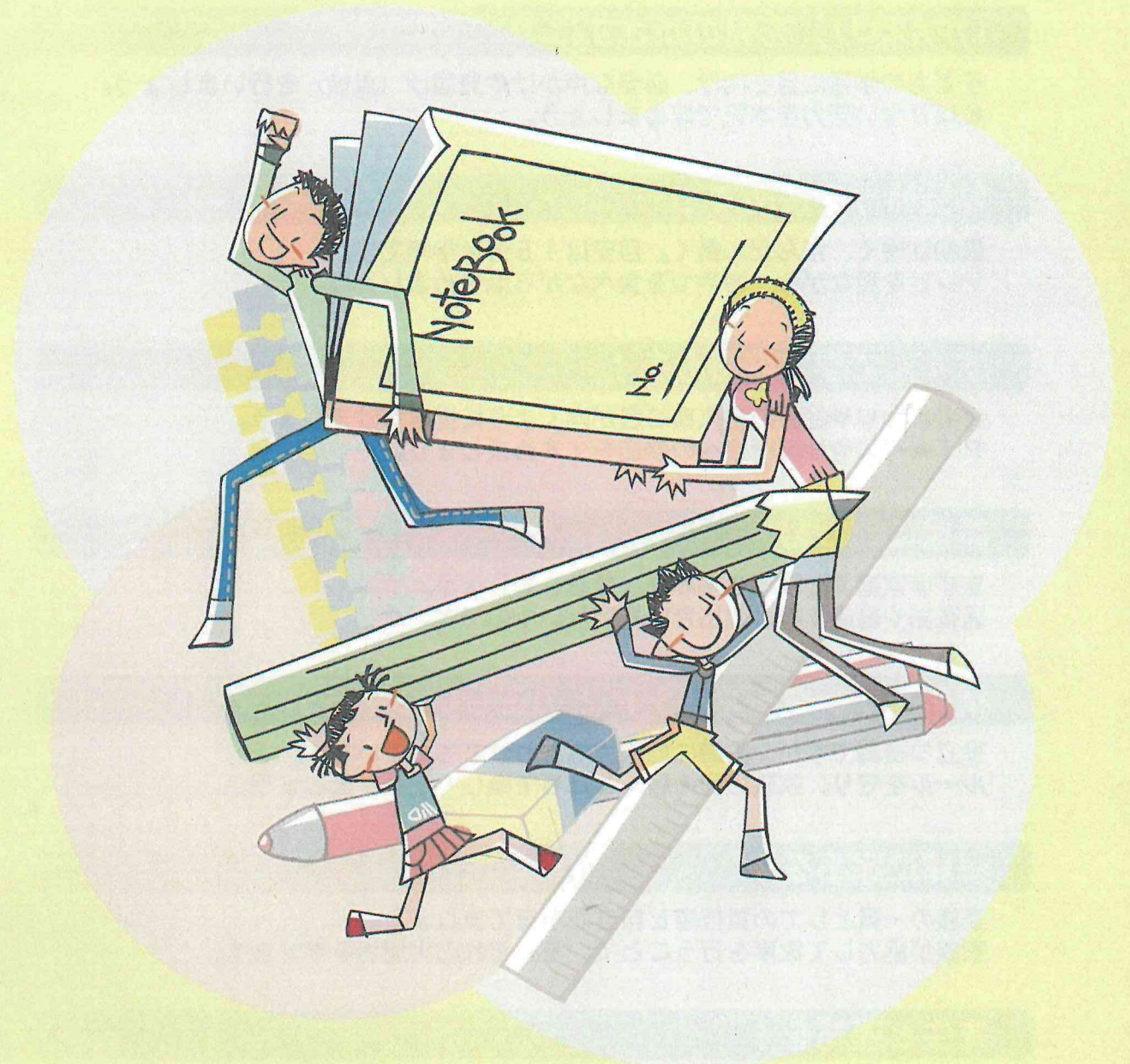
困ったことや聞きたいことがあれば学校にご相談ください。  
大阪市立中泉尾小学校 (06)6551-0068

保存版

### 家庭学習の手引き

## 家庭を学びの環境に

～すすんで学ぶ子どもを目指して～



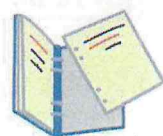
大阪市立中泉尾小学校





# 家庭を学びの環境に

～すすんで学ぶ子どもを目指して～



## ● 家庭学習の手引き ●

### 生活にリズムを！

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

### 「がんばり」を見のがさずに！

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや見届け（点検）を行いましょう。ねばり強い努力を本気でほめましょう。

### 勉強時間を決めて！

最初は短く、だんだん長く。目安は15分×学年です。テレビを見ながら、おやつを食べながらはやめましょう。

### すすんで学ぶ好奇心を！

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめましょう。

### 読書に親しむ！

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。図書館や書店で本との出会いも楽しいものです。

### 情報（インターネット）との正しいつきあい方を！

役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせてもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

### 一緒に家事を！

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

### 先生と連絡を！

わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どもたちのことを、先生と一緒に考えてみましょう。

## 保護者の皆様へ

～子どもの生きる力をはぐくむ家庭の力～

大阪市では、「子どもの生きる力をはぐくむ家庭の力」をテーマに子どもの生きる力をどうはぐくんでいくのか、そのために家庭ができることはどんなことがあるのか、何をすればいいのかなどを、保護者のみなさんと子育てについて一緒に考えていきたいと思っています。

文部科学省が示している「生きる力」を身につけるとは、変化の激しいこれからの社会を生きるために必要となる「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の3つの要素がバランスよく合わさった力を身につけることで、学校の教育活動や家庭・地域との連携の中ではぐくんできたいと考えます。そしてこの「生きる力」をはぐくむためには、学校だけでなく、ご家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組む必要があります。

子どもたちに、居心地のいい環境、すなわち、心の居場所を大人が作っていくことが「生きる力」をはぐくむために、本当に大切なことです。子どもたちに基本的な生活習慣や意欲を身につけさせるために、周りの大人が本気になって、できることから進めていくことです。そのことが学ぶ力として学力向上につながってくると考えます。家庭における基本的な生活習慣の確立を土台に、様々な体験を通して、子どもたちが学ぶことの意味や楽しさを知り、自分に自信と誇りを持ってほしいと思っています。また、学んだことをぜひ家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っております。

ご家庭の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭学習がさらに充実するように、この冊子をご活用いただければ幸いです。

## 目次

子どもの「学ぶ力」は家庭学習から育ちます .....03

子どもの生きる力をはぐくむ家庭の力

小学校1・2年生 .....05

基本的な学習習慣をきちんと身に付ける

小学校3・4年生 .....07

自ら机に向かう姿勢を育てる

小学校5・6年生 .....09

自ら予定を立て、自力で学習を進める



# 子どもの「学ぶ力」は 家庭学習から育ちます

そんな  
大げさな！

と、思われるかもしれませんが、  
実際、家庭学習に励んでいる子ども  
たちには、自分に自信をもち、  
積極的にあらゆる学習に取り組ん  
でいる子どもたちが多いです。



もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、むしろ家庭での関わり  
方によって、その育ち方は大きく変わります。

下の図のように、家庭（保護者）と学校（教員）とが「家庭学習」を通して協力し合うこ  
とが、子どもたちの「すすんで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていくのではないのでしょうか。

家庭と学校とが協力し合って  
子どもの「学ぶ力」を育てましょう。

- 生活リズムを整え、  
決まった場所と時間で  
学習に集中できる環境を
- 認め、励まし、  
対話のある  
温かいふれあいを



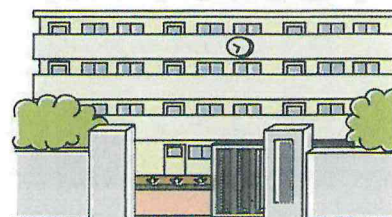
家庭で

すすんで  
学ぶ力



心身の健康

- 基礎学力をつけ、  
学び方を教え、  
主体性を育てる、  
学習指導を
- 子どものよさを生かした、  
家庭学習の提案を



学校で

この  
手引きは

- ・ 家庭学習の習慣化を目指して家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や  
方法を決めていただくための参考となるように作成しました。
- ・ 5ページからは、学年ごとに、家庭学習のポイントとなる事から内容の具体例  
を見開きで載せています。
- ・ 学習上のきまりや約束をつくるために役立つアドバイスやヒントを集めています。

学習意欲を持たせるには

ミ → 認める  
ホ → ほめる  
カ → 感謝する  
ヨ → 喜ぶ

「ミホカヨ」  
の積み重ね



子どもに意欲が生まれます

うれしいわ！

よくできたね

がんばってるらしいね

ありがとう！

もっとがんばろう

私のこと  
わかってきている

学力向上

基本的な生活習慣の確立

子どもの意欲を高める

しっかりほめる 夢や希望を語る  
子どもと対話する

コミュニケーションの第1歩は



「あいさつ」





## 小学校1・2年生 こんな時期です



学習時間のめやす  
15～30分

### 「育ち」や「学び」の特徴

- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、すばらしい意欲を生み出します。
- いろんなことに興味・関心をもち、何でも知りたがりです。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。
- 児童館(学童保育所)の先生とも十分連携が必要です。必要なことは相談しましょう。

### 学習内容の特色(学校で)

- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。

## 家庭学習の つぼ! 3か条



その  
1

### 最後までやり終える! ～家族も一緒に根くらべ～

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。  
根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

その  
2

### 子どもにも家事を! ～高学年・中学生になっても～

家庭で、子どもにできる仕事をみつけてください。  
家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。こうした家事の分担は、学年が上がってもするべきです。

その  
3

### 子どもが見ているぞ! ～子は親のうしろ姿を見て育つ～

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。

## ワンポイントアドバイス

小学校1・2年生 家庭学習  
こんな内容・方法で



全部できるようになれば、まず大丈夫!  
宿題をやり終える子どもにしましょう。  
家族のアドバイスが必要です。



楽しかったことやうれしかったこと、少しでも素直に自分の言葉で書くようアドバイスしましょう。

国語

音読

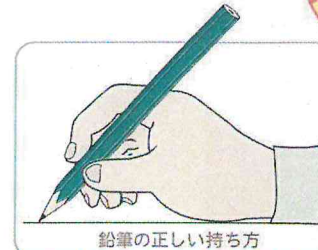
- 楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

漢字

- 書き順に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。

読書

- 子どもにあった本をまわりにおきましょう。読み聞かせをするのもいいですね。



算数

計算

- 速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習しましょう。

生活

- 休みの日には、山や川、動植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。

音楽

- 鍵盤ハーモニカの練習をしましょう。



### 長い休みにはこんなことを!

ふだんできないことに、家族でじっくり取り組みたいものです。

たとえば

- ・絵日記を続ける。
- ・水にじゅうぶん浮く練習をする。
- ・図書館での読書を経験する。
- ・自分の街の自慢(自然、公園、施設など)を絵に描いたり、身の回りの材料で工作したりする。
- ・補助輪をはずして、自転車に乗る練習をするなど

### 我が家のばあい

「～できたか?」「～しなさい!」よりも親が時間を決めて本を読み始めると、子どもも私のそばで自然に宿題をするようになりました。

### ちょっとひとこと

#### 「地域の子どもの成長とわが子の育ちを見つめる」

この時期だからこそ、子どもと一緒に遊ぼう! 今ならどこでもついてきてくれるし、休みの日が待ち遠しくなる。毎日の目配りは無理かもしれないけれど、子育てにかかわり、親の背中を見せておきたい。母親だけに任さず、「父親(おやじ)」は時に厳しく、時に優しく、すべての子どもたちの健やかな成長を見守ろう。



## 小学校3・4年生 こんな時期です



学習時間のめやす  
30～60分

### 「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

### 学習内容の特色(学校で)

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字ずつ)
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+-×÷)の基礎・基本を徹底して学びます。

## 家庭学習の つぼ! 3か条



その  
1

### 宿題以外の学習にも挑戦! ～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組み、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。

そのために、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。

家事を分担し、進んで行うことも、リっぱな学習です。

その  
2

### テレビやゲームは、時間を決めて! ～家族の協力を～

テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。

はじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることにあります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その  
3

### ほかの子と比べない! ～「がんばり」を本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。

## ワンポイントアドバイス

小学校3・4年生 家庭学習  
こんな内容・方法で

### ～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- 今日の宿題を自分で確かめさせる。



子どもの力に合った内容や量になっているか、必要なときは、先生とも相談してみましょう。



様子がよく分かるように、会話を記入して詳しく書くようアドバイスしましょう。読み直す習慣もつけさせましょう。

### 国語

#### 音読

- 毎日1回は声に出して読みましょう。会話文は、気持ちを込めて読みましょう。

#### 漢字

- 学校の漢字ドリルなどを活用して、繰り返し丁寧に練習しましょう。
- 正しい筆順で「はね、はらい、とめ」に気をつけて書きましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元におき、常に使用しましょう。

#### 読書

- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。
- 家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。

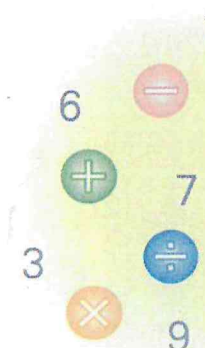
### 算数

#### 計算

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつ計算をしましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 手順が長い計算も、集中して順番に計算していきましょう。

### 音楽

- 機会を見て、リコーダー(縦笛)の練習をしましょう。



### 長い休みにはこんなことを!

たっぷり時間をかけてふだんはできないことをやってみよう。

たとえば

- 地域の行事や子ども会の活動などの学びの場に参加して、気づいたことや感じたことをまとめる。
- 自分の街の自慢(自然、公園、施設など)を絵に描いたり、身の回りの材料で工作したりする。
- 少し長めの本を読み通したり、植物や動物の成長を詳しく記録したりする。など

### 我が家のばあい

- 家族の一員として何か家事に参加させること。わが家ではトイレ掃除を一週間交代で二人の子に分担しました。
- よその子と比べてイライラするよりも、昨日のわが子と比べてほめましょう。

### ちょっとひとこと

小学校で習う漢字は高校入試にまで出てくるといわれます。小学生のうちに身に付けておきたいことは、まず「漢字って嫌だなあ・面倒だなあ」という気持ちを乗り越えさせることです。

そのためには、毎日少しずつでも漢字練習をして、慣れさせることが大切です。

もし、担任の先生が学校で毎時間5分でも漢字練習の時間をとってくれたら、それは幸せなことですね。

次に、継続的に練習することです。

一度や二度がんばったからといって漢字ができるようにはなりません。毎日毎日こつこつと努力を繰り返すことで力となるのです。あせらず取り組みましょう。



## 小学校5・6年生 こんな時期です



学習時間のめやす  
60～90分

### 「育ち」や「学び」の特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並になり、時には大人への反抗も見られます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につながる大切な学年です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

### 学習内容の特色(学校で)

- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習(問題解決的な学習)が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。

## 家庭学習の つぼ! 3か条



その  
1

### 予定を立て、計画的な学習を! ～勉強時間を決めて～

放課後も慌ただしく過ごす子どもが多く見受けられます。その日の予定を立て、見通しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。

最初は、予定通りできないこともありますが、長い目で見守りましょう。

その  
2

### 今一度、基本的な生活習慣の見直しを! ～生活にリズムを～

生活リズムの乱れは、勉強がらいつながります。「早寝早起き、夜更かしをしない」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。

家事の分担も積極的に進めましょう。

その  
3

### 目標に向かって努力することの大切さを!

子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や勉強方法、学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして、目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。どれだけがんばったのが大切です。

子どもに「伝記(偉人伝)」を読ませてみるのもよいでしょう。

## ワンポイントアドバイス

小学校5・6年生 家庭学習  
こんな内容・方法で

### ～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせる。



宿題

学校での学習をふり振り返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにアドバイスしましょう。



日記

書くことに慣れるとともに、自分の気持ちや考えを整理することの大切さに気づくように働きかけましょう。

国語

音読

- 間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 他の教科の教科書を音読すると、重要な用語や内容を理解できるようになります。

漢字

- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- 習った漢字を使って、熟語や短文を作りましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元におき、常に使用しましょう。

読書

- 家族で感想を語り合い、共に心を通わすことのできる世界を作りましょう。

算数

計算

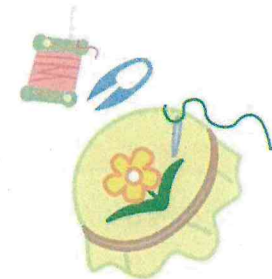
- よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。
- 答の確かめを、自分でできるようになりましょう。

音楽

- 機会を見て、リコーダー(縦笛)の練習をしましょう。
- 家族で、音楽会にもチャレンジしましょう。

家庭科

- 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践しましょう。
- 学んだことを生かし、家事の分担を考えましょう。



### 長い休みにはこんなことを!

たとえば

- 博物館や美術館に出かけ、大阪の自然や歴史・文化に触れたり、絵画などを鑑賞する。
- 買い物から調理まで家族でクッキングにトライする。
- 自分の街の自慢(自然、公園、施設など)を絵に描いたり、身の回りの材料で工作したりする。

### 我が家のばあい

- 当たり前のことができない子どもに驚きます。我が家では「落ちたら拾う」「汚れたら洗う」「困っている人がいたら見て見ぬふりせず助けてあげる」ことが何よりも大切だと考えております。

### ちょっとひとこと

算数・数学の学習で大切なことの一つにノートをきれいにすることがあげられます。きれいにすることで、つまらない計算ミスがなくなり、頭の中も整理されます。テストでいえば10点はアップすることでしょう。ただきれいに書くのではありません。「日付、ページ、番号を書く」「定規を使う」「間違いは×をつけて書き直す」など、正しい方法で努力すれば必ず伸びます。きれいに書けた時は、めいっばい本気で褒めてください。何事も「励まし」の継続が重要です。